

おこめは金メダル

草加市立谷塚小学校 二年
伊藤 優花

夏休みにおじいちゃんの家にあそびに行くと、いえのうらの田んぼいっぱいみどり色のいねが見られます。風がふくとザワザワと音を立ててゆれて、田んぼを見ているとみどり色の海の中にいるような気がしてとても気持ちいいです。あきになるとおじいちゃんがとれたおこめをおくってくれます。夏にはみどり色だったいねは、金色のつぶにへんしんしています。おじいちゃんはいつも

「おこめは一つぶ一つぶがみんな金メダルだから、たべると一ばん力が出るぞ。」

と言います。おじいちゃんの金色のおこめはおとうさんがまっ白にへんしんさせて、おかあさんがあつあつのふつくらごはんにしてくれます。たきたてのごはんはとてもいいにおいで、よくかむとあまくておいしいです。

うんどう会の日、バレエのはっぴよう会の日、プールの日、体そう教しつの日、テストがある日、わたしはいつもぜったいにおこめをたべます。なぜならおこめのパワーで力が出てげん気になれるからです。

金メダルのおこめは、カレーライスになったり、チャーハンになったり、オムライスになったりします。

おにぎりやのりまきになって、おべんとうばこに入れてもっていくこともあります。がんばりたい時やパワーがほしい時は、いつもよりたくさんかんでたべます。わたしがびよう気になった時は、おかあさんがおこめでおかゆをつくってくれたので、すぐにげん気になりました。おとうとは赤ちゃんの時、まい日おこめをつくったおかゆをたべていました。おかあさんが、わたしが赤ちゃんの時もおかゆをまい日たべていたと教えてくれました。だから、おとうともわたしも今とてもげん気です。

わたしはこれからも大すきなおいしいおこめに金メダルパワーをもらって、べんきようもスポーツもげん気がんばりたいです。